



—湾岸・アラビア半島地域・東地中海・北アフリカ地域ニュース—

サウジアラビア・モロッコ：両国の国王の会談

(18日付リヤド紙)

サウジアラビアの18日付リヤド紙は、サウジアラビアのアブドゥッラー国王とモロッコ国王のモハンマド6世の会談、および、サウジアラビアによる対モロッコ支援について報じている。

1. アブドゥッラー国王とモハンマド6世国王の会談

- (1) 17日、アブドゥッラー国王は、ジッダにてモハンマド6世国王と会談した。会談に先立ち、ミシュアル忠誠委員会委員長、ムクリン国王顧問兼特使がモロッコ国王を出迎えた。
- (2) 両国王は、会談において、二国間協力関係の今後の強化について意見交換を行った他、アラブ地域および国際社会の情勢、特にパレスチナ問題とシリア情勢について協議した。

2. サウジアラビアによる対モロッコ支援

- (1) 両国は、閣僚間の会合を行い、サウジアラビア側からはサーレフ・イスラーム事項・寄進・宣教・善導相、アッサーフ財務相、バルグマイム農業相、スライスリ運輸相、ラビーア保健相、ユーセフ・バッサーム・サウジ開発基金(SFD)副総裁およびアブドゥルカリーム石油・鉱物資源省顧問が出席した。
- (2) 会談後、アッサーフ財務省は、両国は特に経済・投資分野をはじめとする協力の他、モロッコにおけるサウジ開発基金の役割について協議を行ったと述べた。この点、同財務相は、この協力はGCC諸国のモロッコとヨルダンに対する支援決定に基づくものであり、モロッコに対してはGCC4カ国で50億米ドルの支援が予定されている中で、サウジが12億5,000万米ドルを拠出すると述べた。また、同財務相は、これまで両国はサウジ開発基金を通じた拠出について協議を重ねてきており、今後、事業実施のための技術委員会の設立に合意し、近くサウジ開発基金関係者がモロッコを訪れる予定であると述べた。
- (3) なお、モロッコは、協力を強化すべき分野として、観光、工業および農業分野における投資環境に高いプライオリティを置いている。

3. アブドゥッラー国王主催昼食会

アブドゥッラー国王は、同日、主催の昼食会を開催し、ムハンマド6世国王をはじめモロッコ側随員を歓待した。昼食会には、ハーリド・メッカ州知事、ファイサル・ビン・ムハンマド殿下(傍系)、ムクリン国王顧問兼特使や関係者が出席した。